

毎年10月に京都中央信用金庫主催で地元企業や大学、行政等の研究機関による商談会が開催され、本年度で29回目に当たる。当栄養クリニックは開設前年度から参加しており11回目となる。来場者数は約8,000人を想定している。今年は221ブースの参加があり、大学からは13校が参加した。栄養クリニックは1ブースを使用し、指導員2名、スタッフ1名と食物栄養学科学生ボランティアとして3回生3名、大学院生3名が参加した。学生たちのコミュニケーション力を養い、管理栄養士の資質向上に役立てることを目的としている。

- 日時：平成29年10月18日（水）10：00～17：00、
19日（木）10：00～16：00
- 場所：京都府総合見本市会館（パルスプラザ）
- 対象：208名（一般市民、商談来場者）
- 内容：握力、ヘモグロビン（推定値）、骨密度の測定
および栄養相談
- 配布資料：骨を元気にするレシピ集（栄養クリニック
作成冊子）、栄養クリニックの利用ガイド

栄養クリニックの開設目的や、これまでの活動事例の一部をパネルで紹介すると共に、今後予定されている事業紹介を行った。また、市民への健康維持や生活習慣病予防の積極的な啓発活動の一環として、骨密度測定、ヘモグロビン推定値測定、握力測定などを無料で実施し、各自の健康への関心を深めていただいた。希望者には、結果説明や栄養相談を行い、食事や運動について個別に対応した。ボランティアの学生は、受付、測定の内容説明、測定実施と簡単な結果説明を担当した。

【成果】

参加者は10歳代後半～90歳までと幅広く、企業商談会のため、参加者の過半数が40～60歳代であった。測定結果に応じて食事や運動を中心としたアドバイスを行った。「自分の骨密度を知ることができ、来た甲斐があった」、「聞きたいことがやっと聞けて、よかった」、「具体的な食事の改善点が明確になった」などの感想をいただいた。栄養相談の内容は、骨粗鬆症、メタボ、糖尿病、高コレステロール血症、貧血、がんなどさまざまであった。20歳代でも骨粗鬆症のリスクがある方も見受けられ、骨粗鬆症は生活習慣病の一つであるにもかかわらず、予防や早期発見に対する一般の認識が甘いように思われた。骨粗鬆症のリスクがある方には、受診勧奨し、早期発見、早期治療の重要性を啓発することができ、成果は大きいと思われる。



測定の様子

- 学生の感想：始めは参加者との対応に緊張したが、いろいろな対応をしている内に、緊張感がとれてスムーズに動けるようになった。一般の方の骨密度や貧血の測定を通してコミュニケーションをとることができ、大きな収穫であった。栄養相談の一部ではあるが、聞くことができ、相手にわかるやさしい言葉でさまざまな質問に答えられているスタッフの先生の様子を見て、幅広い知識の必要性を痛感し勉強になった。

（木戸詔子）